

2022年度環境フェスティバル アンケートに見る 市民のSDGs意識の現状



八王子市消費生活啓発推進委員会

環境フェスティバルとは



あなたのまちも、あるけるまち。ハ王子

はちおうじの環境をみる・きく・考える

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2022ハ王子環境フェスティバル

2022年6月5日(日)
AM10:00～PM5:00 ※雨天決行

会場 JR八王子駅
北口 西放射線ユーロード
南口 とちの木デッキ

楽しいイベントがいっぱい!

マイバッグを持って行こう!!

主催 八王子環境フェスティバル実行委員会
お問い合わせ: 八王子環境フェスティバル実行委員会事務局(八王子市環境部環境政策課内)TEL:042-620-7384
後援: 八王子市、八王子市教育委員会、八王子商工会議所、一般社団法人八王子青年会議所

八王子環境フェスティバル 検索

感染症対策にご協力ください。STOP COVID-19 新型コロナウイルス 感染症対策を徹底します。

この事業は、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成を受けて実施しています。

- (1) 開催日時
令和4年(2022年)6月5日(日)
午前10時から午後5時まで
 - (2) 開催場所
JR八王子駅北口西放射線ユーロード
及び南口とちの木デッキ
 - (3) 来場者数
延べ約60,000人
 - (4) 出展者数
54団体
(企業・NPO16団体、市民団体15団体、
学校4団体、行政その他19団体)
- イベント
八王子観光PR特使によるパフォーマンス、
和太鼓演奏 他
- SDGsに関する取組
各出展ブースが目指すSDGsゴールのロゴを
掲示し、来場者にPRを行った。

画像・文言は八王子市公式ホームページより引用

消費生活啓発推進委員会ブース

西放射線通りの中町公園付近にブースを設置



- ・ブース内では、SDGsの5つの目標にちなんだ内容を記載したカードにクマの人形を取付けた「クマの輪投げゲーム」を用意。

ブースに来場した子供～年配の方々まで、大変多くの方々が輪投げを楽しみました。



ブース内でアンケートを実施

「消費生活に関することで市民が工夫できることは何か」
SDGs 17の目標のうちの、下記5つの目標に関連した取り組みについて、
市民がどのくらい実践できているか？アンケートで聞いてみました。

17の目標のうち、消費生活に関することで、
市民が工夫できることとして、5つをあげました。

<p>7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>12：つくる責任 つかう責任</p>	<p>13：気候変動に 具体的な対策を</p>
<p>持続可能かつ近代的なエネルギーを 生活に取り込もう</p>	<p>持続可能な生産と無駄のない消費生活 を目指そう</p>	<p>気候変動への対策には時間の余裕はあ りません</p>
		
<p>14：海の豊かさを 守ろう</p>	<p>15：陸の豊かさも 守ろう</p>	
<p>海洋と海洋資源を守りながら 海を利用しよう</p>	<p>陸上生態系や土地の劣化を守りながら 陸を利用しよう</p>	
		

アンケート内容

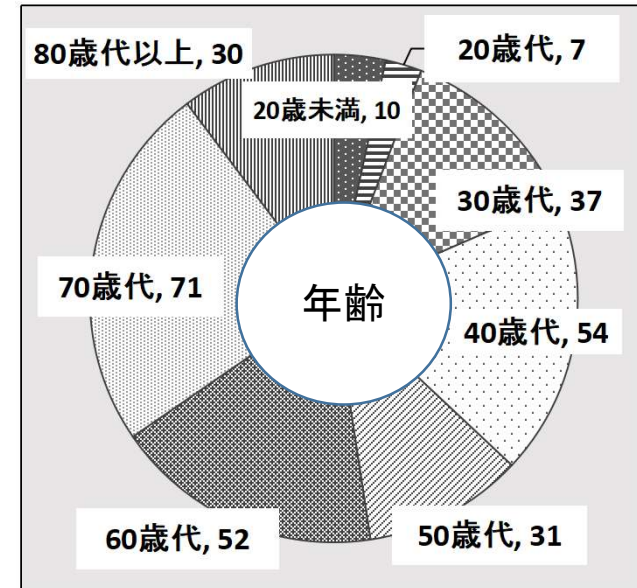
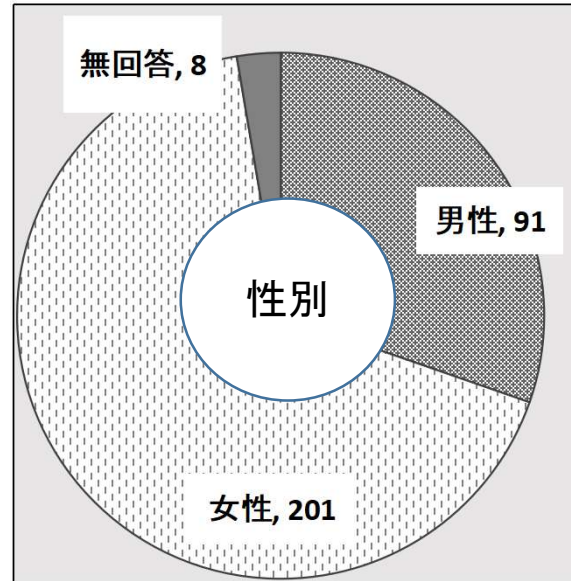
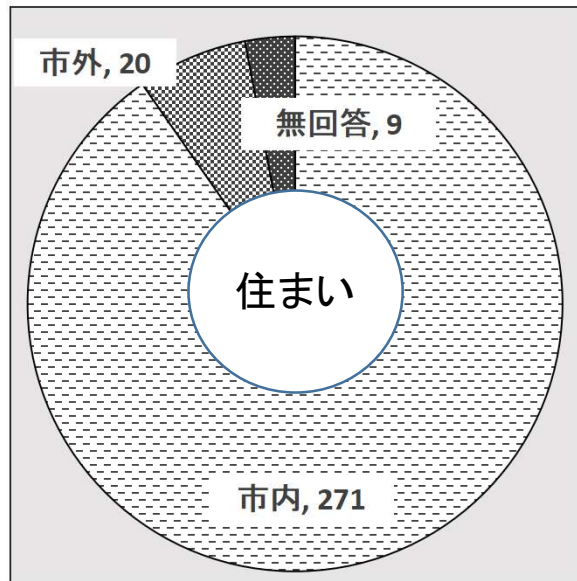
5つの目標と絡めて「家庭で行えること」を中心にアンケートを作成しました。
(回答は「はい」「いいえ」に丸を付けてもらう方式)

No.	項目	項目でSDGsに関連していること
1	家庭菜園やグリーンカーテンをして、一時1品でも自給自足をしたり、暑さ対策をしている	エネルギー、陸の豊かさ、気候変動など
2	料理のときは、作りすぎず、多く作らないようにしている	健康、気候変動、飢餓など
3	炒め物などの料理のときは、最初の油を入れすぎないようにしている	健康、陸の豊かさ、海の豊かさなど
4	食べ物を買うときは、産地などを確かめて、地産地消を心がけている	エネルギー、気候変動など
5	冷蔵庫や保管食料の整理をし、買いすぎないようにしている	エネルギー、健康、使う責任など
6	衣類を買うときは、地球に優しいものを考えて選択している	気候変動、使う責任、海の豊かさなど
7	買うときは、SDGsに取り組んでいる商店や生協を利用している	SDGsへの間接参加
8	資源回収のビン・缶・プラは、洗ってから出している	エネルギー、海の豊かさなど
9	生ごみは堆肥にしたりして、可燃ごみを減らして、悪臭を出さないようにしている	エネルギー、気候変動、使う責任など
10	自動車を使わず、歩くか自転車で移動	エネルギー、気候変動、健康など

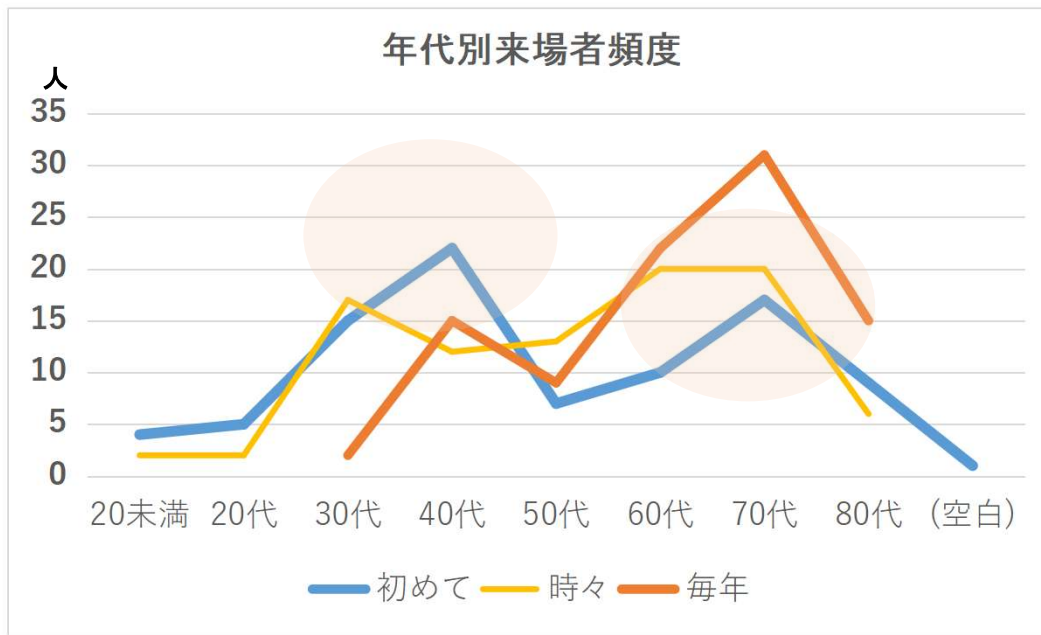
アンケート回答者の属性

300人の方にアンケートを配布し、ご回答いただきました。

- ・市内の来場者が圧倒的に多かった。
- ・性別では男性：女性が1：2の比率というのは、実は例年並み
- ・輪投げゲーム効果で、子育て中の30歳代、40歳代の親御さん方が答えてくださいました。
- ・例年より70歳代80歳以上の方が増えていました。



来場者の傾向



「初めて」の40代と70代に多い
 ……子供が小学校高学年になり、
 環境に興味を持ち始めたのが
 来場のきっかけか？
 その祖父母も一緒に来場？

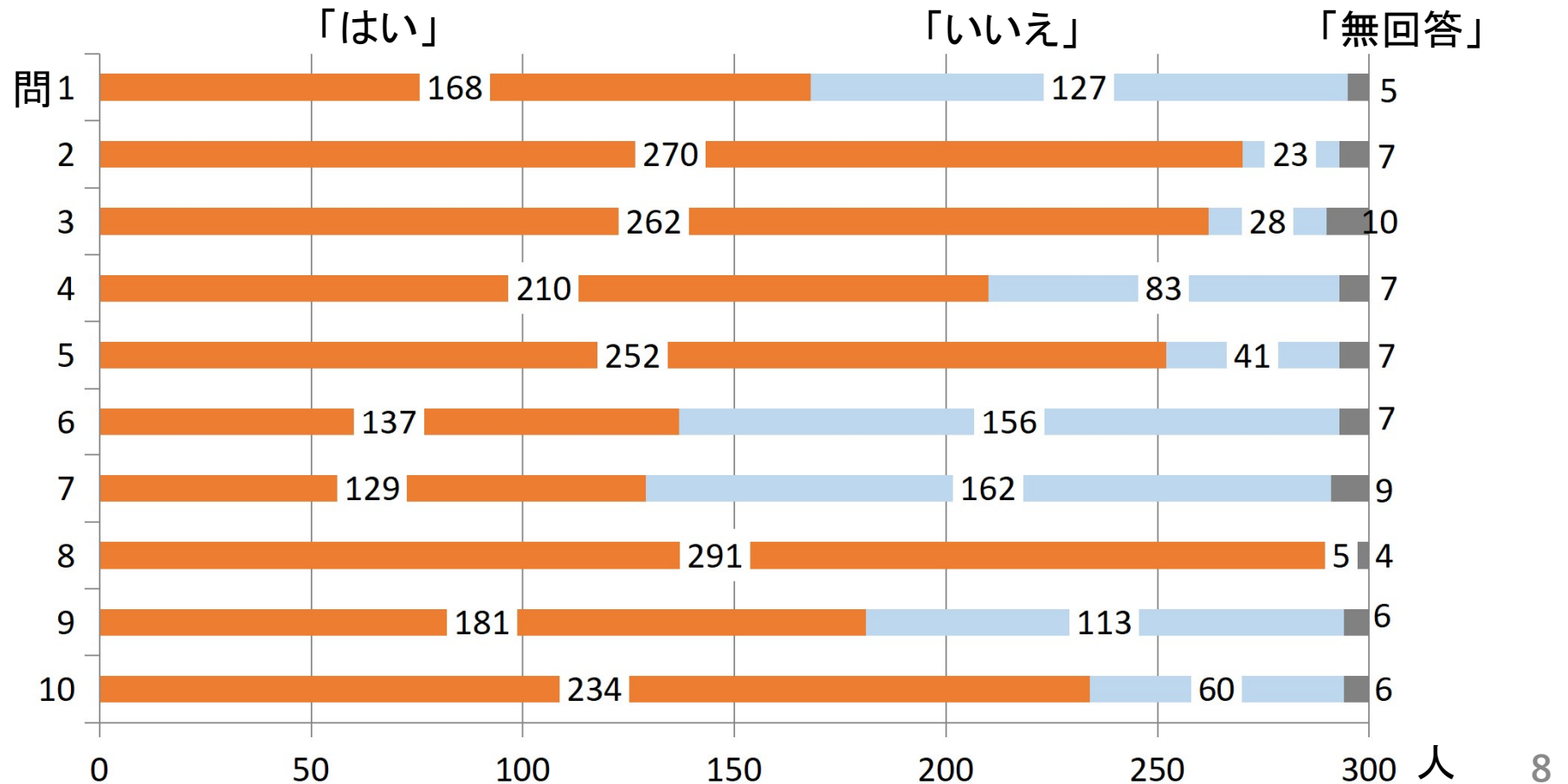
年代	初めて	時々	毎年	総計
20未満	4	2	3	9
20代	5	2		7
30代	15	17	2	34
40代	22	12	15	49
50代	7	13	9	29
60代	10	20	22	52
70代	17	20	31	68
80代	9	6	15	30
(空白)	1			1
総計	90	92	97	279

年代 (女性)	初めて	時々	毎年	総計
20未満	2	4	1	7
20代	1			1
30代	10	12	1	23
40代	9	17	13	39
50代	8	4	6	18
60代	11	8	17	36
70代	14	9	25	48
80代	4	6	8	18
(空白)				
総計	59	60	71	190

年代 (男性)	初めて	時々	毎年	総計
20未満			1	1
20代	5	1		6
30代	3	7	1	11
40代	5	3	2	10
50代	3	5	3	11
60代	2	9	4	15
70代	8	6	6	20
80代	3	2	7	12
(空白)				
総計	29	33	24	86

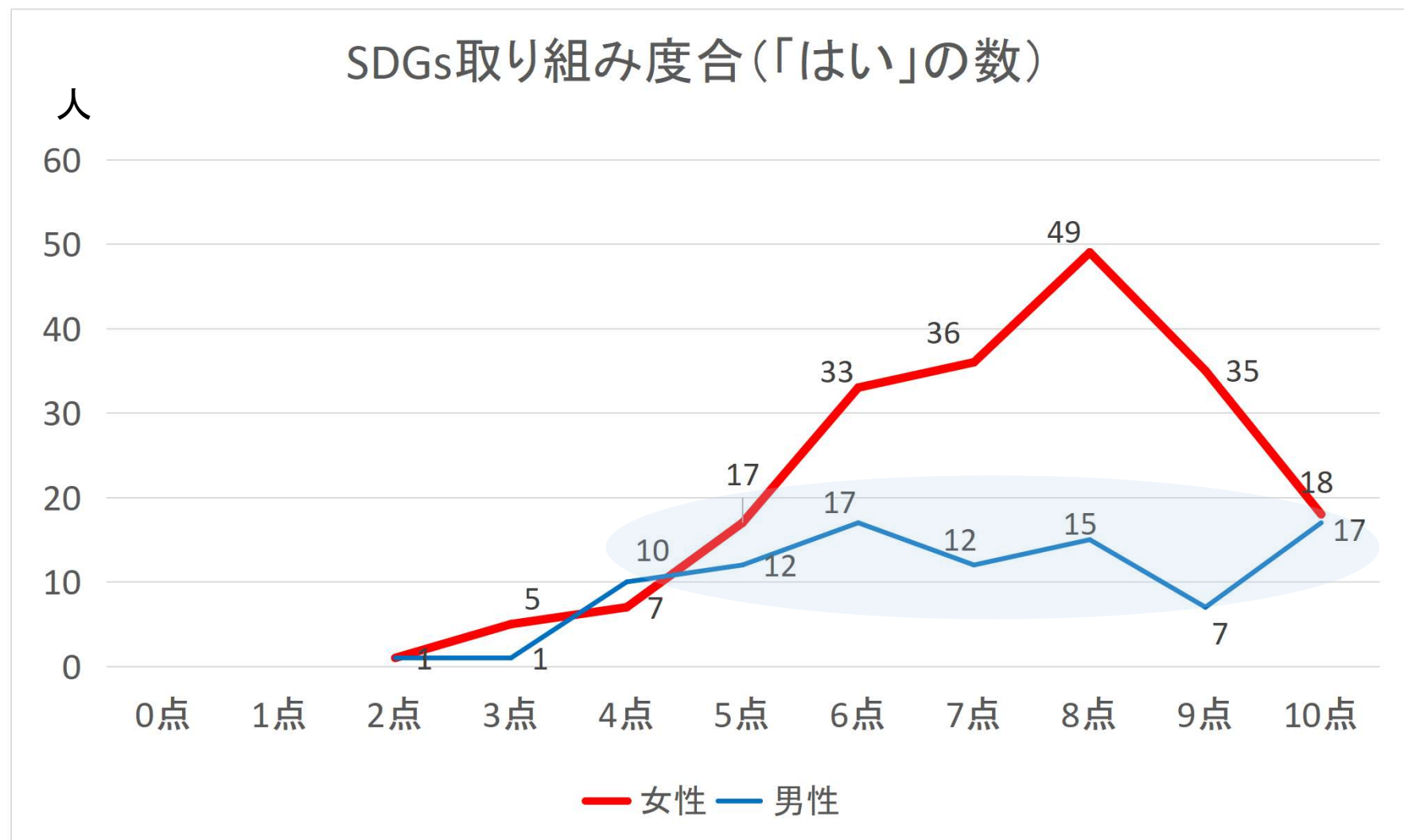
アンケート結果

- **料理の分野やリサイクルの分野では、取り組みが根付いている**
(Q2：料理を作りすぎない、Q3：油を入れすぎない、Q8：資源回収)
- **暮らしに向き合い工夫されている方々も多くなっている**
(Q1：グリーンカーテン、Q4：地産地消、Q5:買いすぎに注意、Q9：生ごみ処理機、Q10：歩くや自転車を活用)
- **地球を考えた商品購入は発展途上！** (Q6：地球に優しい服、Q7：SEDsに配慮)



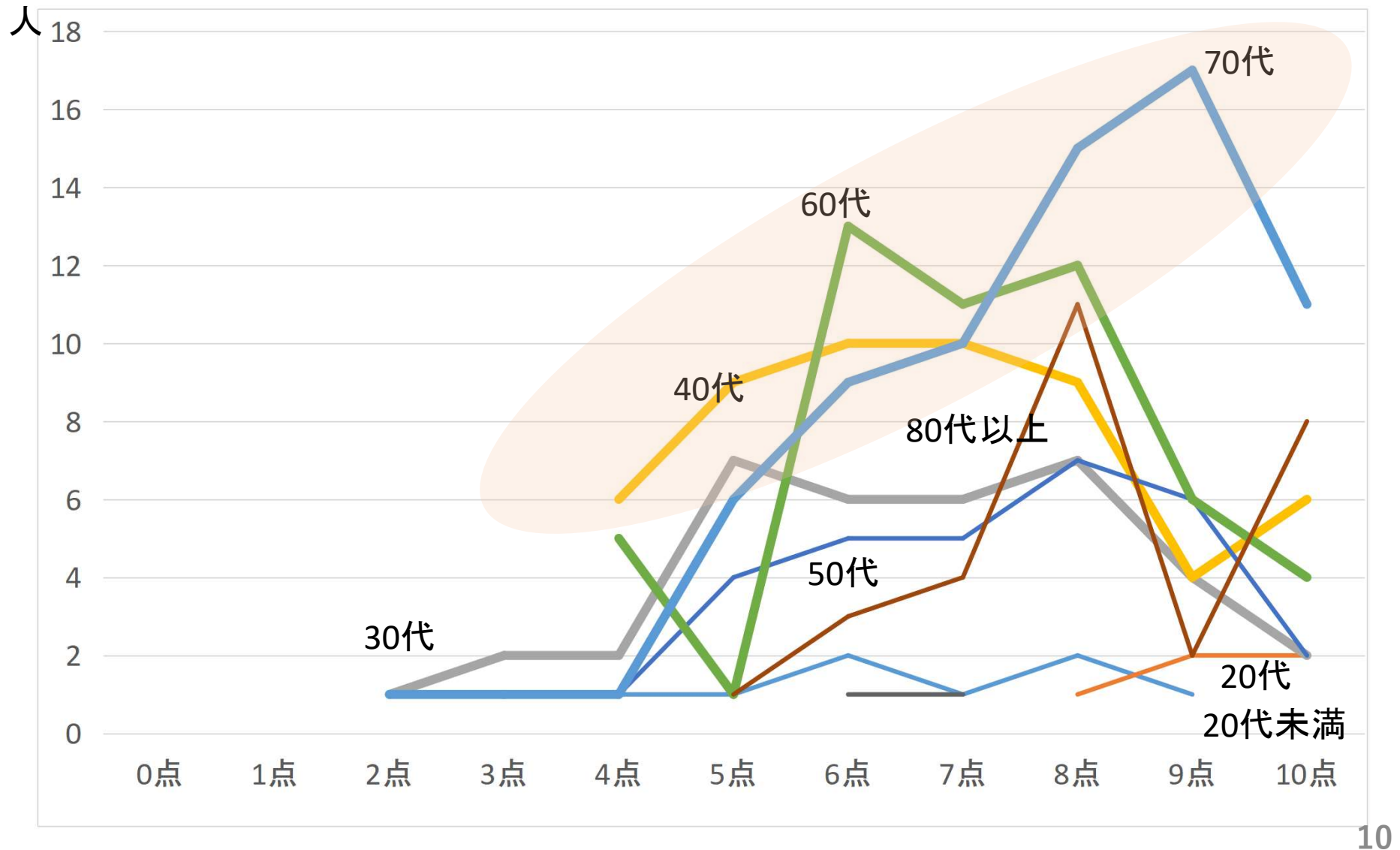
「はい」の個数 = 点数分布

女性は10問中「はい」8個が最大人数。多く方が積極的。
男性は4点以上に、ばらついて分布。



「はい」の個数 = 点数分布

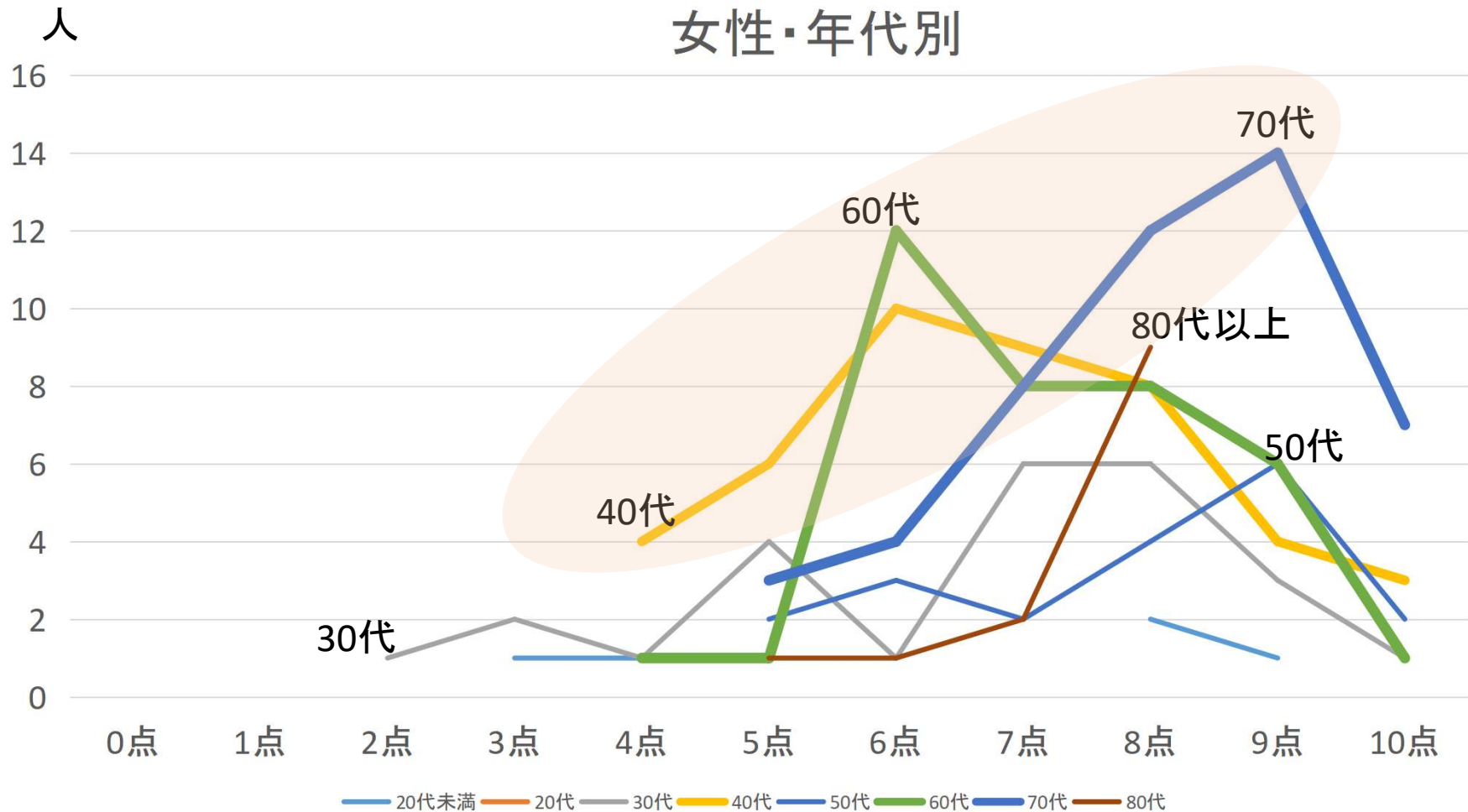
サンプル数が多い40代、60代、70代は年齢が上がるにつれて「はい」が多くなり、積極的に取り組んでいることが判る。



「はい」の個数 = 点数分布

女性回答者についても同様の傾向

(男性回答者はサンプルが少ないため、グラフ化していない)

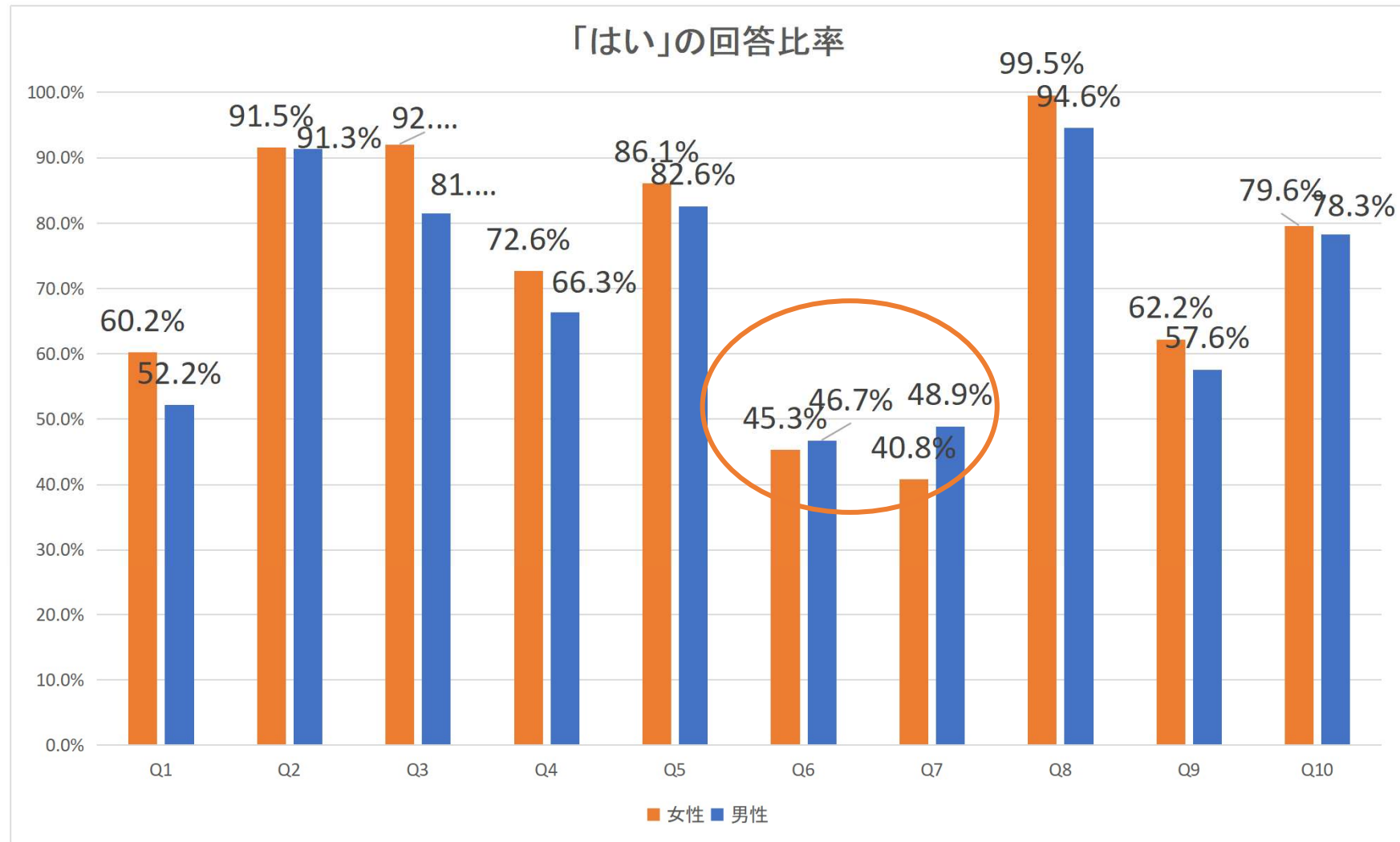


回答率が低い質問

全体で回答率の低い質問（Q6とQ7）のみ、男性の「はい」の確率が高い

Q6：地球にやさしい衣料を買う

Q7：SDGsに取り組んでいる商店/生協を利用



ご清聴ありがとうございました